

平成12年度 第3回
受注登録企業動向調査結果報告書

(平成12年12月末現在)

財団法人 京都府中小企業振興公社

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんをはじめとする下請企業振興事業の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当社に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

鉄鋼・非鉄関係	30企業	金属製品関係	45企業
一般機器関係	45企業	電気機器関係	45企業
輸送用機器関係	30企業	精密機器関係	30企業
縫製関係	45企業	樹脂製品関係	30企業

(3) 調査時点

平成12年12月31日現在

（前回調査時点 平成12年9月30日）

(4) 調査方法

調査票（別紙様式）の郵送によるアンケート方式

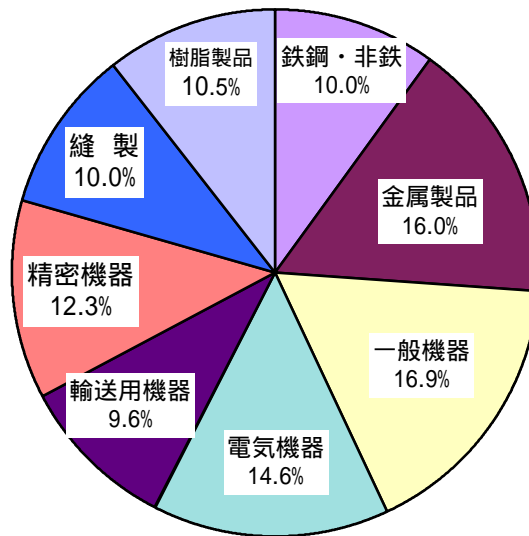
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

調査対象企業数	300企業		
回収企業	219企業		
内訳	鉄鋼・非鉄関係	22企業	(10.0%)
	金属製品関係	35企業	(16.0%)
	一般機器関係	37企業	(16.9%)
	電気機器関係	32企業	(14.6%)
	輸送用機器関係	21企業	(9.6%)
	精密機器関係	27企業	(12.3%)
	縫製関係	22企業	(10.0%)
	樹脂製品関係	23企業	(10.5%)
回収率	73.0%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
個人	18 8.2%	2 9.1%	0 0.0%	1 2.7%	2 6.3%	2 9.5%	1 3.7%	6 27.3%	4 17.4%
～300万円	20 9.1%	1 4.5%	1 2.9%	2 5.4%	5 15.6%	1 4.8%	3 11.1%	6 27.3%	1 4.3%
301～999万円	16 7.3%	1 4.5%	3 8.6%	1 2.7%	1 3.1%	2 9.5%	2 7.4%	3 13.6%	3 13.0%
1000～2000万円	122 55.7%	9 40.9%	26 74.3%	25 67.6%	22 68.8%	14 66.7%	10 37.0%	7 31.8%	9 39.1%
2001～5000万円	36 16.4%	8 36.4%	5 14.3%	7 18.9%	2 6.3%	2 9.5%	7 25.9%	0 0.0%	5 21.7%
5000万円超	7 3.2%	1 4.5%	0 0.0%	1 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 14.8%	0 0.0%	1 4.3%
合 計	219 100%	22 100%	35 100%	37 100%	32 100%	21 100%	27 100%	22 100%	23 100%

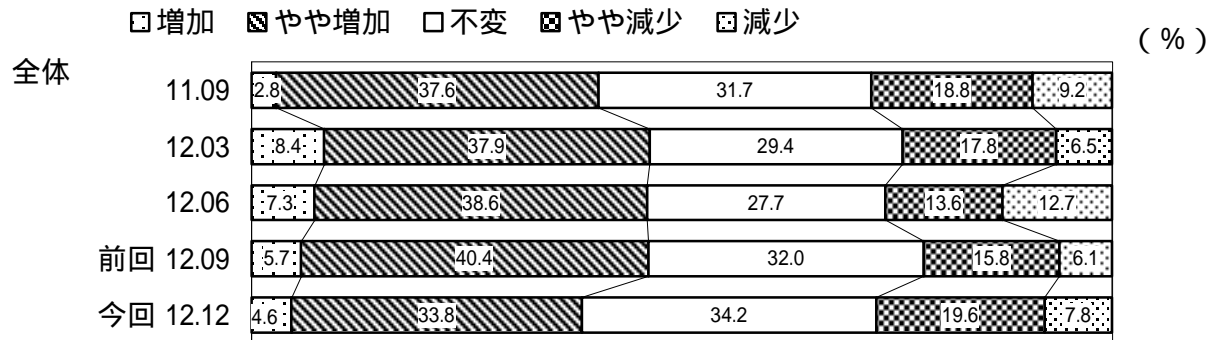
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

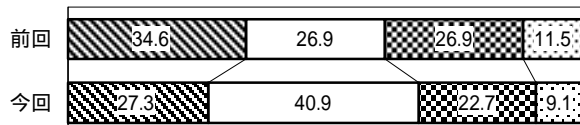
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
1～5人	32 14.6%	3 13.6%	1 2.9%	2 5.4%	3 9.4%	4 19.0%	5 18.5%	9 40.9%	5 21.7%
6～10人	51 23.3%	9 40.9%	8 22.9%	13 35.1%	3 9.4%	5 23.8%	3 11.1%	4 18.2%	6 26.1%
11～20人	52 23.7%	1 4.5%	12 34.3%	11 29.7%	6 18.8%	5 23.8%	6 22.2%	7 31.8%	4 17.4%
21～30人	38 17.4%	5 22.7%	9 25.7%	8 21.6%	7 21.9%	4 19.0%	1 3.7%	1 4.5%	3 13.0%
31～50人	23 10.5%	2 9.1%	3 8.6%	1 2.7%	6 18.8%	2 9.5%	6 22.2%	1 4.5%	2 8.7%
51人以上	23 10.5%	2 9.1%	2 5.7%	2 5.4%	7 21.9%	1 4.8%	6 22.2%	0 0.0%	3 13.0%
合 計	219 100%	22 100%	35 100%	37 100%	32 100%	21 100%	27 100%	22 100%	23 100%

3. 調査結果

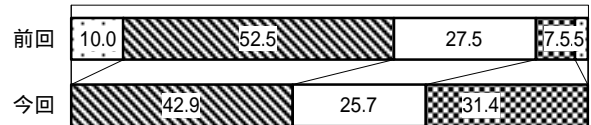
(1) 受注量について



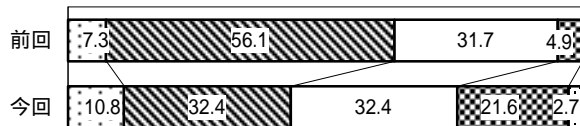
鉄鋼・非鉄



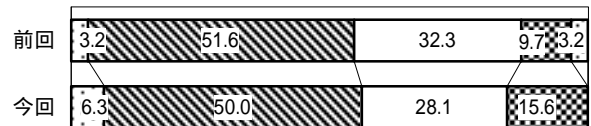
金属製品



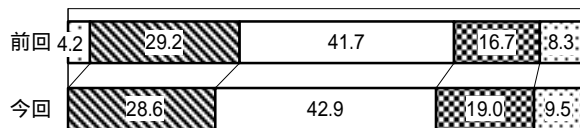
一般機器



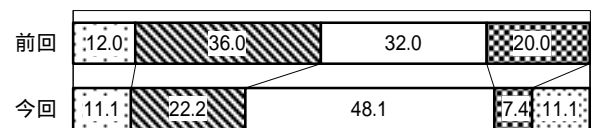
電気機器



輸送用機器



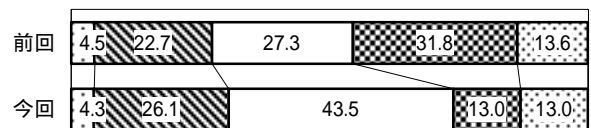
精密機器



縫製

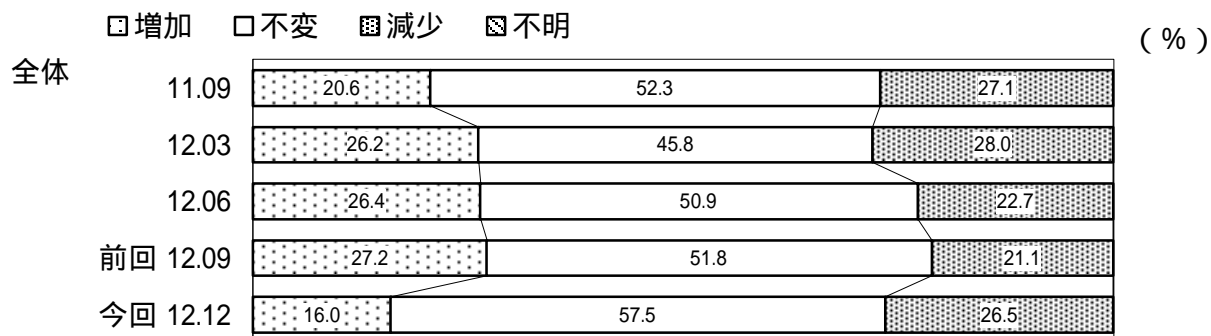


樹脂製品

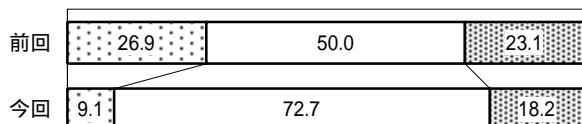


- 全体では、「増えた」（増加又はやや増加）とする企業が38.4%で前回調査と比較して7.7ポイント減少し、「減った」（減少又はやや減少）とする企業は27.4%で、前回調査と比較して5.5ポイント増えており、増加傾向に陰りが見られる。
- これを業種別に見ると、一般機器、金属製品、精密機器で「増えた」とする企業が大幅に減少している一方、縫製、樹脂製品においては歯止め・改善の傾向も見られる。

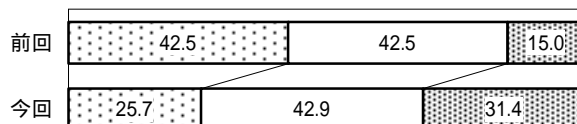
(2) 受注量の見通しについて



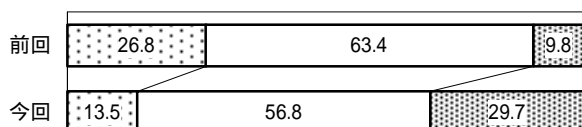
鉄鋼・非鉄



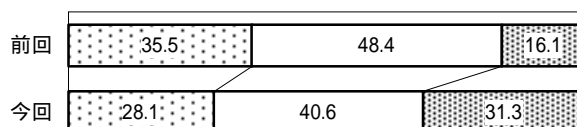
金属製品



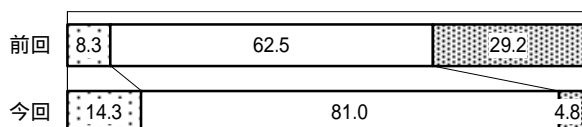
一般機器



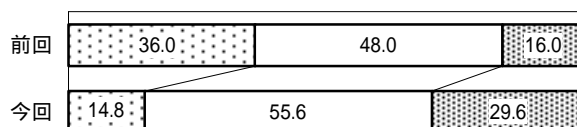
電気機器



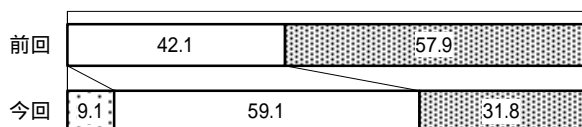
輸送用機器



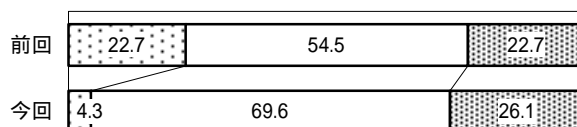
精密機器



縫製

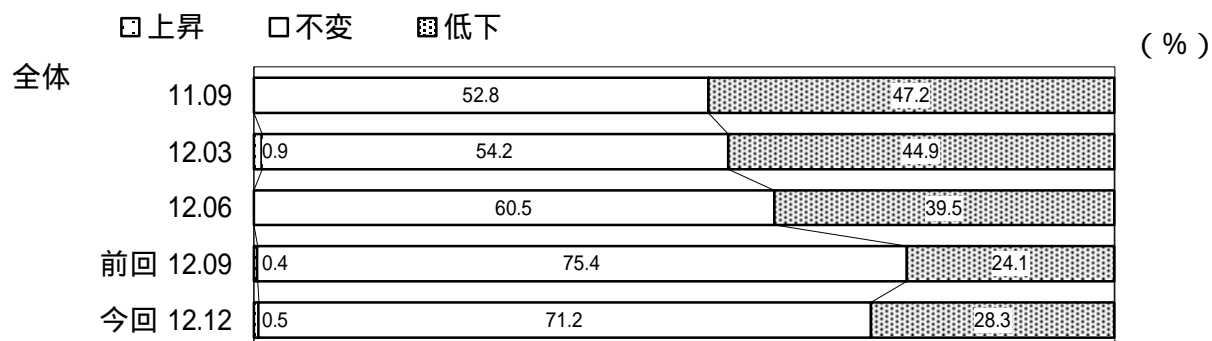


樹脂製品

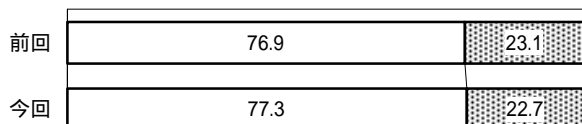


- 全体では、「増加」とする企業が16.0%で前回調査に比べて11.2ポイント減少し、「減少」とする企業が26.5%で5.4ポイント増加し、「不変」が6割近くを占めており、厳しい見通しをしている。
- 業種別では、輸送用機器、縫製は増加の見通しであるが、全業種で「減少」とする企業が「増加」とする企業を上回っており、特に金属製品、電気機器、一般機器では「減少」とする企業が大幅に増えており、先行きが厳しい見通しとなっている。

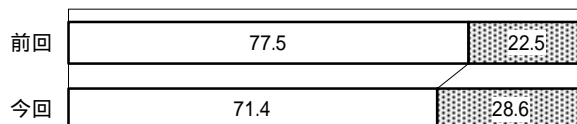
(3) 受注単価について



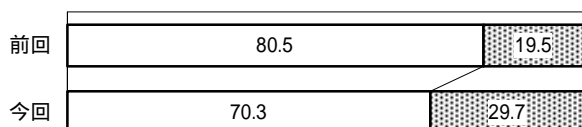
鉄鋼・非鉄



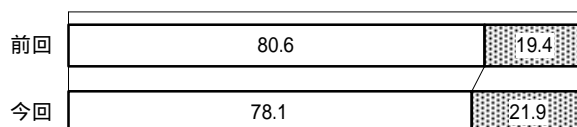
金属製品



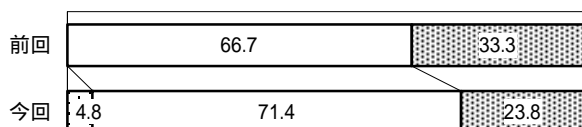
一般機器



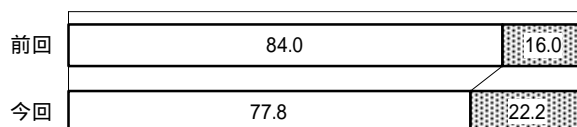
電気機器



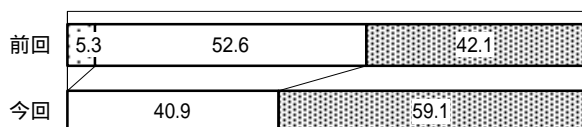
輸送用機器



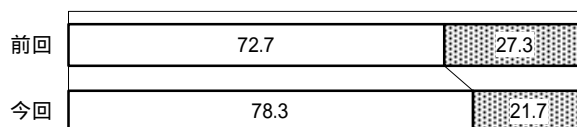
精密機器



縫製

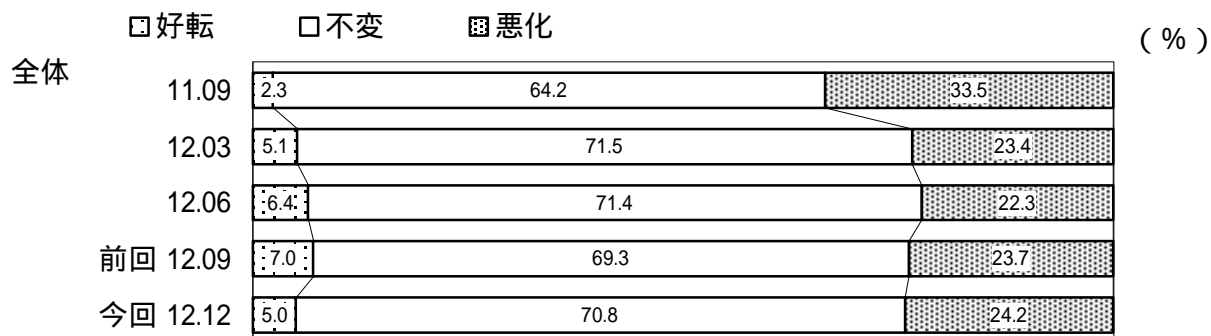


樹脂製品

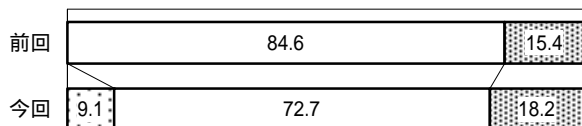


- ・ 全体では、「上昇」とする企業は僅か0.5%しか見られず、「低下」とする企業が28.3%で「低下」が「上昇」を大幅に上回っている。前回調査に比べると「低下」が4.2ポイント増加するとともに、「不変」が71.2%を占めており、受注量の増加傾向の陰りに加え、受注単価の低下傾向が懸念される。
- ・ 鉄鋼・非鉄、輸送用機器、樹脂製品を除く業種で「低下」が増加しており、特に縫製が著しい低下傾向を示している。

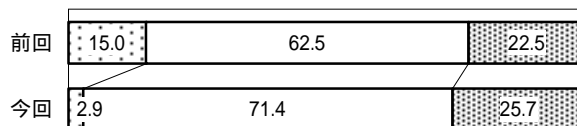
(4) 資金繰りについて



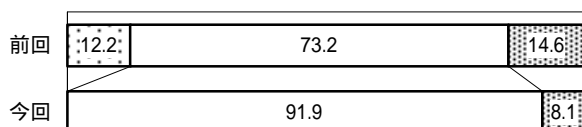
鉄鋼・非鉄



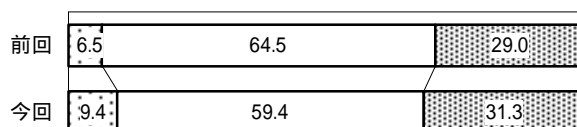
金属製品



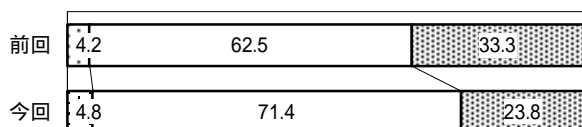
一般機器



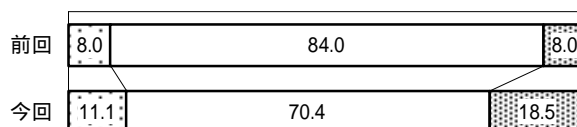
電気機器



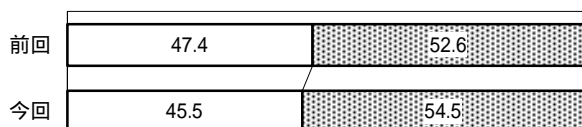
輸送用機器



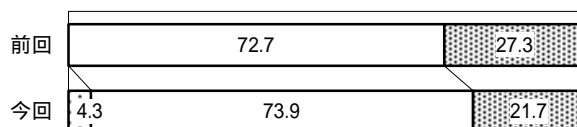
精密機器



縫製



樹脂製品

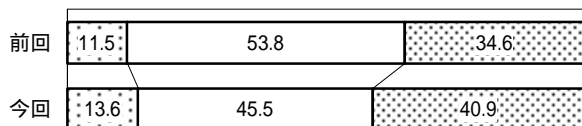


- ・ 全体では、「不変」とする企業が7割以上を占め、前回と比べて大きな変化は見られない。
- ・ 業種別に見ると、鉄鋼・非鉄、金属製品、電気機器、輸送用機器、樹脂製品で若干の「好転」が増えているものの、全業種で「悪化」が「好転」を上回っており、依然として状況が続いている。

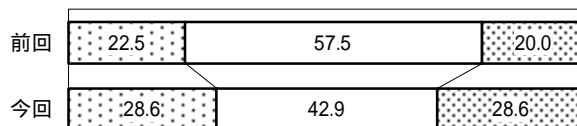
(5) 採算状況について



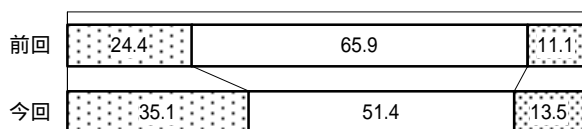
鉄鋼・非鉄



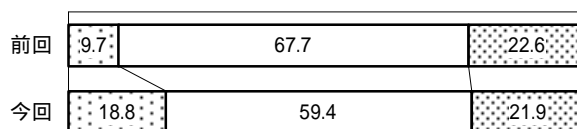
金属製品



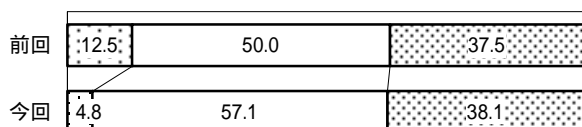
一般機器



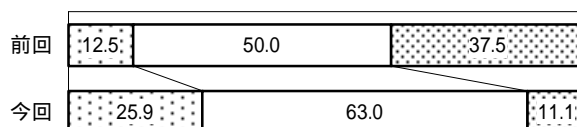
電気機器



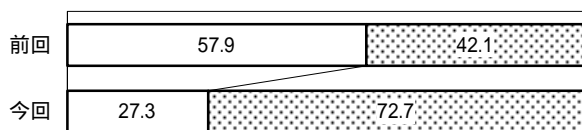
輸送用機器



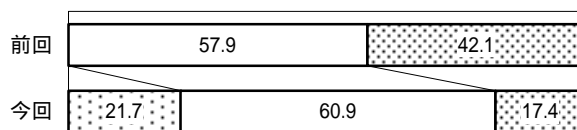
精密機器



縫製



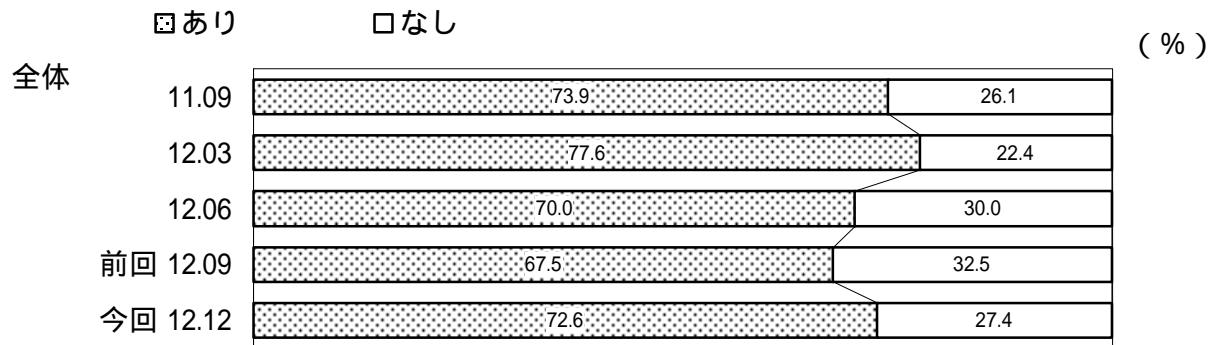
樹脂製品



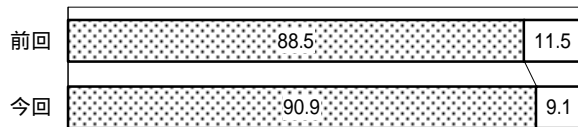
- 全体では、「黒字」とする企業は20.5%で前回調査に比べて4.3ポイント増加しているものの、「赤字」とする企業も28.3%で4.2ポイント増加し、企業間格差をうかがわせる。

業種別では、一般機器、精密機器、樹脂製品で好転傾向が見られるものの、鉄鋼・非鉄、輸送用機器では、依然として「赤字」が「黒字」を大きく上回っており、縫製では「黒字」とする企業がなく、7割以上が「赤字」としているなど、厳しい状況が続いている。

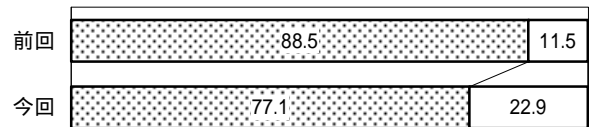
(6) 受注余力について



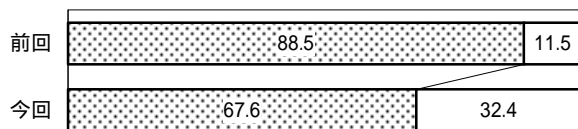
鉄鋼・非鉄



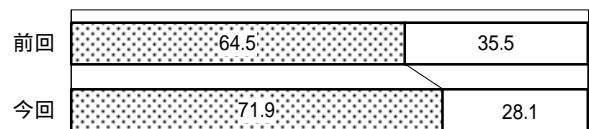
金属製品



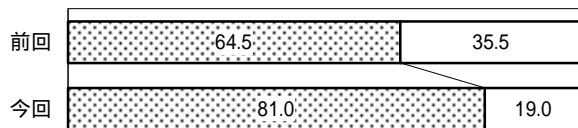
一般機器



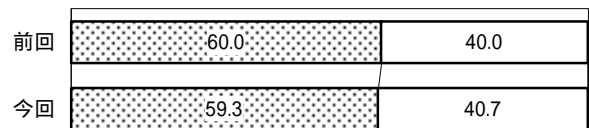
電気機器



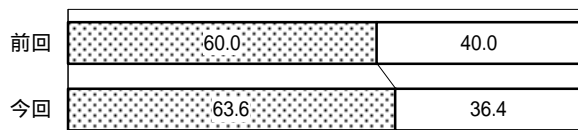
輸送用機器



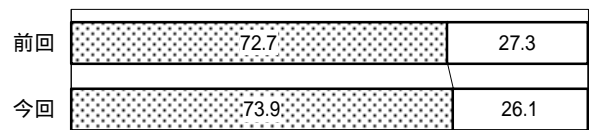
精密機器



縫製



樹脂製品



- ・ 全体では、余力「あり」とする企業が前回調査に比べて5.1ポイント増加し、72.6%と大半の企業で受注余力を残しており、依然として十分な受注量は確保されていないことがわかる。
- ・ 業種別でみると、一般機器で「余力なし」とする企業が大幅に増加しているが、金属製品、電気機器、樹脂製品では7割以上の企業が、輸送用機器では8割以上が、鉄鋼・非鉄においては9割以上の企業が余力を残している。